

# いよいよ夏本番！！ 子どもたちの成長を感じる季節です

仲嶺 真弓

季節はすっかり夏！！ じわじわと蒸し暑くなる初夏や梅雨の時期があっという間に通り過ぎた今年の夏の始まりでした。連日の暑い日差しとムシムシする湿度。事務室も特に午後からは西陽で地獄のような暑さです。この夏も機器類がパンクしないようにと願いますが、冷えすぎも厳禁なので室内の環境調整にも力が入ります。給食室はクーラーを入れても午前中は火を使うので効き目がほとんどなく、水分補給は欠かさずに熱中症予防に余念はありません。保育室も室内温度と湿度をこまめにチェックし、子どもたちの状態を見て室内環境を整えることを心がけるよう職員会議でも話しました。けれど、時々、職員の感覚もマヒしてしまうこともあるようなので、保護者の方で送迎時など、室内温度の調整で気付いたことがあれば、直接声をかけていただけるとありがたいです。よろしくお願いします。



各保育室では、5歳児のお泊り保育をはじめ、夏にしかできない体験を通してまた一つたくましくなっていく子どもたちの姿をみて元気をもらっている毎日です。事務室から垣間見る子どもたちの様子や表情を見ることが、忙しい事務仕事の中でも“ほっこり”一息つける瞬間でもあります。0歳児の水遊びで見せる表情が、8人いれば8通りの表情があり眺めているだけでとろけそうになります。1歳児は事務室に届いたトイレットペーパー運びのお手伝いをする姿に感動です。1つ抱えて寄り道せずに部屋に帰る後姿に成長を感じます。2歳

児は水遊びしていても好きなように遊びだすけれど、自分がしたいこと一直線でけんかや言い合い、鳴き声は絶えません。でも友達とぶつかる中で自分以外の存在に気付く大事な時期です。3歳児は友達を感じながら一緒に何かをすることが大好きで笑い声も絶えません。4歳児はできるときに野菜の皮むきなど、給食室のお手伝い。小さな力を発揮してくれています。そして5歳児はお泊り保育を終え、できたことを力にますますたくましくなっていきます。それぞれの年齢でいろいろな体験を通して必要な力を蓄えていく子どもたちの姿がリアルに見える季節でもあります。



## 祖父母交流会(6/25)とパパ懇(7/2)を終えて

6/25に開催した祖父母交流会と7/2に開催したパパ懇談会は、今でも心に余韻が残る行事となりました。2つとも毎年開催している行事なのに何がそうさせたのか…。それはきっと、2つの行事ともに、祖父母の方とそしてお父さんたちと保育の紹介話だけでないテーマについて、各職員も一人間としての意見交流ができた実感があるからなのだろうと思います。すでに2行事ともに先月号つばさっ子や新聞で報告をしましたが、子どもたちが健やかに育つために必要な“地域”についての話ができたとともに印象に残っています。祖父母交流会では、「子育て世代の息子や娘も必死で子育てしている。自分たちもそうだった。見ていて思うことはあるけれどそれよりも今は見守りたい。何かあったときのサポーターでいたい。」という話をきき心温まるとともに、祖父母の話を聞けるこんな喋り場を大切にしたいと思いました。パパ懇談会での災害時の話も、園にもマニュアルはあるけれど、お父さんたちの意見をきくことで、まだまだできることやもっと考えておくべきことも少し見えてきたように思います。まだまだこれからのこの新しいつばさが丘地域で保育園はどんなことができるのかは未知数ですが、じっくりと探し続けていきたいと思っています。